



市民病院

を明確にし、市議会を初め市民の皆様にも説明していきたい。

**議員** 医師については岡山大学への要請を継続しているということだが、本当に医師の確保はできるのか。  
**病院管理局長** 依然として厳しいが、今後は大学への要請だけでなく地域の市民病院として、地域医療機関や井笠管内の公立病院等と協力して医師の確保を目指していきたい。

## 教育審議会の状況について

**議員** 小・中学校の適正規模を考える教育審議会についての現段階での審議状況の内容についてたずねる。

**教育長** 現在、市立小・中学校の学校規模の適正化、現在休園・休校している幼稚園や小学校の今後、笠岡市連携教育の進め方について協議をしており、今後は、市立小・中学校の実態から適正規模と言える1学級あたりの人数、廃校した場合の校舎の跡地利用等についても協議する予定である。

## 防災について

**議員** 南海トラフ巨大地震の被害想定を受けて、現在の防災計画をどのように変更しているのかたずねる。  
**市長** 現在県では、防災計画の見直し作業中であり、本市においても県の計画との整合を図りながら見直し作業を進める予定である。

**議員** ハザードマップについては現在どうなっているのか。  
**危機管理部長** 津波に特化したハザードマップを現在作成中であり、秋頃に全戸配布できるように努めている。

## 齋藤一信議員

### 雇用創出について

**議員** ①笠岡市の有効求人倍率の現状についての対策をたずねる。

②県営工業用地活用との連携、連帯方法についてたずねる。

**建設産業部長** ①井笠地域雇用対策推進協議会において、就職面接会の開催等に取り組んでおり、また、笠岡市内の企業情報や雇用情報を掲載するかさおか夢ワークHPにおいて、積極的に情報を発信していきたい。



かさおか夢ワークHP

②現在23・4haが売れ残っている状況にあり、今後は、県と密接に連絡をとりながら、県が東京等で開催する

誘致セミナー等に本市からも参加し、本市のメリットや優遇制度をPRする等、積極的な企業誘致活動に取り組んでいきたい。

### 生活困窮者対策について

**議員** ①生活困窮者が生活保護に陥らないための取組みをたずねる。

②笠岡市の子どもの貧困防止策についてたずねる。

③子ども貧困対策会議等の設置により、根本的な貧困の連鎖が断ち切れるのではないかと考えるが、どうか。

**健康福祉部長** ①ハローワークからの出張巡回相談等の強化、また、離職で住居を失った方への住宅手当制度の活用等、引き続き積極的な支援を行っていく予定である。

②ひとり親家庭等の公費負担等、経済的な支援に加え、子育て支援課による母子自立支援員の相談支援、ハローワークと連携し、自立促

進及び生活の安定に向けた支援も行っている。  
③国、県の動向を踏まえ、今後子どもを取り巻くさまざまな関係機関によるネットワークの構築と複数の者がチームを組んで複合的な課題に包括的に対応できる体制を検討していきたい。

## 大月隆司議員

### 防災の取組みについて

**議員** ①自助に対しての取組みをたずねる。

②自主防災会等の共助の活動の周知と施策をたずねる。  
③公助に対しての取組みをたずねる。

**市長** ①災害時の被害軽減には、市民一人一人の高い防災意識が重要であり、今後も地域密着型訓練等を通じて災害に対する意識の高揚と啓発に努めていきたい。  
②笠岡市自主防災連絡協議会の総会等を通じ周知するとともに、防災資機材の配